

Premium Textile Japan 2019 Spring/Summer

【開催概要】



- ◇ 日 時 : 2018 年 5 月 9 日 (水) ~10 日 (木) (10:00-18:30/18:00)
- ◇ 会 場 : 東京国際フォーラム ホール E-1 (3,000 m²)
- ◇ 来場者 : バイヤー及び招待者限定 [入場無料]
- ◇ 出展者 : 書類及びスワッチ審査を通過した厳選出展者 (団体不可)
- ◇ 後援 : 経済産業省 独立行政法人中小企業基盤整備機構 独立行政法人日本貿易振興機構
一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会 日本繊維輸入組合 日本繊維輸出組合

2019 SPRING SUMMER



Premium Textile
Japan

PTJ は、今回で区切りの 15 回目を迎える。繊維・ファッション業界を取り巻く環境の厳しさは増すばかりだが、PTJ は過去の好評な開催実績を背景に、今回も多数の応募申し込数を記録。中でも審査を通過した新規出展者が、13 社と過去最多となっている。また、来場者数も回を重ねる毎に増加し、特に商品企画における差別化を素材に求める傾向から、ここ数回はアパレルの来場者数の伸長が見られる。

また、近年来場者数が多くなった海外来場者だが、今回も事前に団体での来場登録が複数あり、日本素材への関心の高さが伺える。PTJ は他の繊維・アパレル展が出展者及び、来場者の確保に苦戦している中、“真剣なテキスタイル・ビジネス商談会”として定着し、業界にとって最も重要なイベントとなっている。

■ TREND&INDEX コーナー

毎回、来場者で賑わう TREND&INDEX コーナー。今回の施工コンセプトは、2019SS 概観の「対話」をキーワードに「対」として語りかけてくるトレンド・ビジュアルをアクリル・パネルにプリントし、SS シーズンらしい透明感を演出。4 つに区切られたトレンドエリアの両サイドにはインデックス・コーナーを設置し、多くの来場者がストレスを感じずに見られる様に導線を工夫しています。また、素材展示法もハリ感・落ち感などの風合いがより感じられやすい「吊り」を主体に構成し、トレンド & インデックス全体で 823 点の素材（一部副資材）が来場者を迎えます。

<TREND 別展示点数>

- ◇ ムーンナイト・ダイバー - Moon Night Diver - : 139 点
- ◇ イノセント・ラブ - Innocent Love - : 142 点
- ◇ 自然環境実験室 - Biotech Lab - : 141 点
- ◇ スパイシーな日常 - Daily Spaicy - : 134 点

<INDEX : 展示点数> 267 点





■ 関連プログラム：

<Textile Workshop ～日本の素材を学ぼう！～>

- ◇ 開催日時：2018年5月9日（水）～10日（木）
各日 10：30～（60分）
- ◇ 開催場所：PTJ 会場内の特設レクチャールーム
- ◇ 受講者：アパレル・服飾雑貨メーカー、小売り、デザイナーメゾン等に勤務し、商品企画・素材仕入れに携わる職歴5年未満の若手社員
- ◇ 募集人数：各回 15～20名 ※学生不可
- ◆ テーマー素材（産地）：講師



- ・5月9日：素材－デニム（備後産地） 講師：カイハラ(株) 代表取締役会長 貝原良治
- ・5月10日：素材－ニットファブリック（和歌山産地） 講師：(有)紀南莫大小工場 副社長 南方敏伸

■ Topics

<ビジネス・アイコンの変更とJ∞Quality 事業 PR>

PTJ（JFW-JC）では従来からビジネス・アイコン（4種）をHPやブースの社名板、ガイドブック等に表示し、出展者の特徴を解り易く表して来たが、その内の「エコへの取り組み」を表すアイコンを今回からデザイン変更した。



また、新たなアイコンとして、近年注目を集める MADE IN JAPAN を表す“J∞Quality 認証企業”のアイコンを追加する。また、今回出展している J∞Q 認証企業には、どの工程（織・編み/染色・整理/縫製/企画・販売）の認証企業かを表すロゴマークの POP を J∞Q 事業推進団体の日本ファッション産業協議会から支給する。更に、今回は JFW の全面的な協力により J∞Quality PR ブース（ブース No.M-3）を設置し、出展者・来場者へより一層のアピールをする。

■ 出展状況 94 社/ 125.1 小間 ▶ 出展者リスト参照

- <Aゾーン> 短繊維（コットン、麻、ウール、複合）：37社/48.6小間
- <Bゾーン> 長繊維（化合繊、シルク、機能素材、複合）：23社/36.5小間
- <Cゾーン> 染色・後加工、プリント、刺繍・レース、皮革・毛皮：23社/27小間
- <Dゾーン> 服飾資材、ニット、撚糸、パイル：11社/13小間

<Premium Textile Japan 2019SS 出展者リスト>

* 新規出展者

小間No	Aゾーン	小間No	Bゾーン
A-90	浅記株式会社	B-46	糸の音
A-58	イマダ	B-42	宇仁繊維株式会社
A-86	近江織物株式会社	B-48	クレッシェンド・ヨネザワ(栗野商事(株))
A-57	株式会社オールブルー *	B-49	株式会社コーラル
A-74	株式会社岡本テキスタイル *	B-65	齋栄織物株式会社/SAIEI SILK
A-93	小原屋繊維株式会社	B-63	ササキセルム株式会社
A-73	有限会社オフィスくに	B-39	サンコロナ小田株式会社
A-70	カイハラ株式会社	B-53	第一織物株式会社
A-66	株式会社カゲヤマ	B-47	高坂繊維株式会社 *
A-78	株式会社クリスタルクロス	B-61	東京田川株式会社 *
A-94	クロキ株式会社	B-43	同興商事株式会社
A-85	有限会社クロスジャパン	B-45	東レ株式会社
A-81	コスモテキスタイル株式会社	B-31	外村株式会社
A-2	株式会社コッカ	B-50	畑岡株式会社/株式会社足羽工業所
A-87	小松和テキスタイル株式会社	B-51	株式会社松原
A-56	有限会社コヤマインターナショナル	B-54	丸井織物株式会社
A-69	株式会社斎藤商店	B-62	宮眞株式会社 *
A-91	株式会社サンウェル	B-52	ミワ株式会社
A-59	滋賀麻工業株式会社	B-44	明林繊維株式会社
A-92	株式会社シバタ	B-41	有限会社山政テキスタイル
A-77	柴屋株式会社	B-64	株式会社ユー・ティ・ケー
A-89	株式会社ジャパンプルー	B-55	MAGIC FIELD CO., LTD./Thailand
A-1	鈴木晒整理株式会社	B-40	UNICON CO., LTD./Korea
A-60	株式会社日本ホームスパン		
A-82	株式会社パノコトレーディング		
A-84	株式会社林与		
A-3	株式会社播		
A-88	有限会社福田織物		
A-68	古橋織布有限会社		
A-76	北高株式会社		
A-79	株式会社麻絲商会		
A-72	森菊株式会社		
A-4	山崎テキスタイル株式会社		
A-80	渡辺パイル織物株式会社		
A-83	株式会社ワン・エニー *		
A-75	Calik Denim Tekstil Sanayi ve Ticaret A.S./Turkey		
A-67	J VIEW FASHION CO., LTD./China		
小間No	Dゾーン	小間No	Cゾーン
D-7	有限会社青木織工芸	C-32	株式会社エミュ・ラクサイ *
D-13	川田ニット(株)/ケーシーアイ・ワープニット(株)	C-33	落合レース株式会社
D-9	有限会社紀南莫大小工場	C-35	株式会社グローブ
D-71	株式会社サンファッショ	C-30	神戸レザークロス株式会社
D-8	シマダテキスタイル株式会社	C-23	小島染織工業株式会社 *
D-6	株式会社大定 *	C-37	小林株式会社
D-11	東光商事株式会社	C-21	山陽染工株式会社
D-5	株式会社ノリタケ	C-20	サン・ルック株式会社
D-12	フジサキグループ	C-34	株式会社シャルマン工芸
D-10	株式会社フリーズ	C-38	株式会社大長
D-14	TOP TEXTILE/Korea *	C-36	有限会社田中刺繍
		C-17	敦賀繊維株式会社
		C-25	株式会社ドゥースリー *
		C-18	東海染工株式会社
		C-24	日本蚕毛染色株式会社 *
		C-16	株式会社野崎染色
		C-29	有限会社久山染工
		C-15	二渡レース株式会社 *
		C-26	丸増株式会社
		C-27	溝呂木株式会社
		C-28	有限会社ワダノブテックス
		C-22	DAECHUN CO., LTD./Korea
		C-19	SFT Inc. (Samsung Fashion & Textiles)/Korea

* 新規出展者：13社/13小間

* 海外7社/7小間(韓国×4、タイ、トルコ、中国)

【出展企業紹介】 JFW Textile News より

－新しい表現のデニムを提案－

PTJ では、さまざまな産地が素材提案します。その中のひとつが、“デニム”。ジーンズ専門だけでなく、総合アパレルもデニム素材を定番的に採用しています。今回はデニムを扱う 4 社を紹介します。

➤ 株式会社オールブルー (A-57)

新規顧客開拓を目的に PTJ に初出展。「海外バイヤーも多いと聞き、そうした顧客とも接触できることを期待」しています。今回は「タオルデニム」を発表。タオル織機を入れ、ロープ染色した糸を織ったもので、織機も 160cm の広幅のため、アパレルの生地として使用できます。「裏は白くて、表がデニム調といった生地を何種類か出品」する予定です。「1 年ほど試織し、ようやくものになった。すでに何社か受注依頼がある」が、今回の出展から本格販売します。

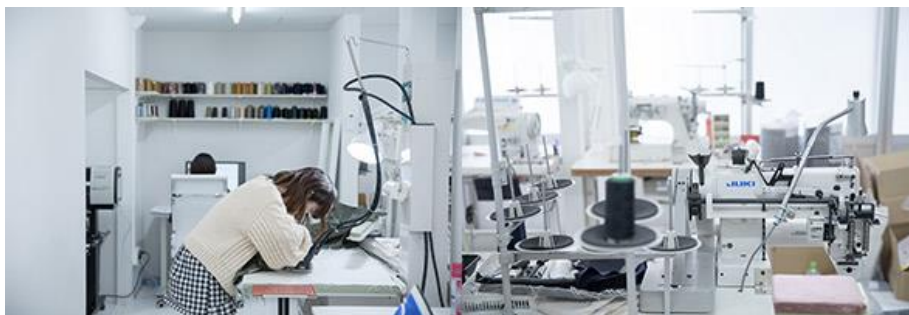
➤ クロキ株式会社 (A-94)

PTJ には「アパレルなどの新規顧客開拓、販売促進が目的。最近はシューズや家具、カーテンといったユーザーもあり、衣料以外の顧客との出会いも期待」しています。提案するのは 1 年前から始めた「オーガニックコットン」のデニムバリエーション。インド綿で、「欧州の SPA などに評価されている」というもの。また、ソフトで軽いデニムも提案します。「見た目は重そうだが、実際には軽い。そのギャップ」が特徴で、こちらも海外のトレンドに合致します。カラーの面では「ライトブルー」。スカイブルーともいわれ、明るい色ですが、赤味すぎない色ようです。



➤ 岡本テキスタイル株式会社 (A-74)

今回が初出展です。岡山県でインディゴを中心にした生地の製造・販売しますが、このほど東京都世田谷区の桜新町にサンプル工場を開設しました。ミシンを 15 台設置。「縫製業は厳しい。その人材育成も目的」です。今回の出展では、このサンプル工場の紹介も行い、「多くの方に来ていただき、モノ作りの現場を知ってほしい」と話しておられました。展示会にはインディゴをベースにした一味変わったテキスタイルを出品。糸の加工でツイードのような新しい表現のデニムもそのひとつのようです。



➤ 株式会社ジャパングルー (A-89)

PTJ は 5 回目の出展です。新規顧客の獲得、既存顧客への提案、アピールを目的とします。「当社は産地企業としてのモノ作り力とアパレルに近いテキスタイル開発が強み。毎シーズン新作を発表、提案し、各産地とのコラボレーション等もしながら、新たなテキスタイルを創造する。また、リスク販売も行う。



ー 伝統と革新の京都からー

今年は「明治 150 年」。明治元年（1868 年）から満 150 年を迎えます。幕末・維新の大きな舞台となった京都は、近代国家への道を歩んだ日本の中で、西陣織をはじめ多くの文化、工芸を残しています。海外からの観光客にとっても、「京都」は日本文化の象徴的な都市でしょう。その京都から PTJ に出展される企業があります。今回は伝統的な技術をベースに、新たな商品開発に注力されている 3 社を紹介します。

➤ 株式会社エミュ・ラクサイ (C-32)

JFW-JC には 10 年ほど前に出展しましたが、その後は単独展を開いていました。今回、PTJ に初出展します。「この 10 年の顧客も入れ替わり、若いデザイナーやセレクトショップが来場する PTJ で新規顧客を見つける」のが目的です。

同社の特徴は刺繍加工やプリント加工による“装飾”。このほどビーズを自動で付ける機械を導入し、スピードアップとコスト削減につなげました。「機械で実演したいが、大きすぎて難しい。動画で表現することも検討」しています。京都は捺染の産地ですが、プリント加工でも「ポリウレタンを使い、合皮調に見せるプリント技術」を披露します。「洋服に付加価値を付ける 2 次加工を見てほしい」と話していました。



➤ 同興商事株式会社 (B-43)

PTJ には何回も出展しています。昨年の 5 月展ではシルク交織生地に華やかな刺繍を施した商品を出品しました。スエード加工で、シルクのしなやかで滑らかな独特の風合いに仕上げ、製品での紹介も行いました。シルクを日常の衣料に提案する同興商事。今回も独自性のあるシルク素材を提案します。

➤ 有限会社久山染工 (C-29)

「国内での展示会は PTJ に絞っている。来場者として最も売り先として適した人たちが来られるから」と、久山染工は PTJ 出展の常連組です。生地への提案だけでなく、製品の OEM も手掛けており、雑貨（小物類）も扱っています。京都の伝統工業である染めの工程すべてを職人による手作業で型を使ってプリントするのが京都手捺染。それを独自の形でハンドスクリーンプリントの技術に発展させ、海外メゾンからも高い評価を得ています。今回は 2 枚の生地を貼り合わせ、片面だけを溶かすことで、レーシー風、ジャカード風、キルティング風など表面感のある素材を提案します。プリントでも「にじみプリント」を開発。柄のにじみが出る独創的なプリントです。

－脚光浴びるパーツ－

PTJ にはアパレルの MD やデザイナーだけでなく、バッグメーカーやシューズメーカーなど衣料以外のバイヤーの方も来場されます。来場者インタビューでも「レース業者が一堂に出展する展示会は PTJ だけ」といった声が聞かれます。裏方的なイメージのパーツが、トレンドによっては表舞台で活躍する時代。テキスタイルだけでなく、今回は様々なパーツメーカーを紹介します。

➤ 東京田川株式会社 (B-61)

販路拡大を目指して初出展します。撥水・防水生地や傘などのレイングッズを販売する企業で、「レイングッズ向けの生地と製品に特化している」ことが特徴と言えます。生地は北陸産地の高密度織物や富士吉田産地の傘地などを扱い、自社で製品化も進めています。ポリエステル平織や先染め、プリント物をそろえ、撥水加工を施したり、遮光機能などを付与します。「衣料業界ではレインコート地として採用され、傘にも使われている。こうした生地をもっと別の分野で使うことができないか。来場される方との話で、そうした新用途のアイデアも期待」しています。



➤ 株式会社大定 (D-6)

これまで JFW-JC に単独出展していましたが、今回、PTJ に初出展します。「アパレル関係の販路をより拡大したい」という目的です。数年前に多色使いで立体構造のトーションレースを作る機械を業界で最初に導入し、そのノウハウを蓄積してきました。エスニック調のふちどりができるなど、他社にない提案が魅力です。「チロルレース」は 4～5 色展開で、立体的なチロリアンテープ風のトーションレースです。メタリックな糸を使って、キラキラ感を出すこともできます。極細の糸によるトーションレースも得意とします。



➤ 株式会社フリーズ (D-10)

PTJ 出展は常連組です。新規開拓を目的に継続出展してきました。装飾品・加工卸、ラインストーンなどを扱い、在庫を持って販売するため、短納期で、サンプルから量産まで対応するのが強みです。「パーツはトレンドやブランドの考え方で、キラキラしたものからナチュラルなものまで様々。できるだけ間口を広げながら、常に新しいものを提案する。今回も形の新しいパーツを見てもらう」と話していました。衣料関係はもちろん、バッグやシューズ関係のバイヤーにも紹介します。

－海外出展者－

➤ Calik Denim Tekstil Sanayi ve Ticaret A.S./Turkey (A-75)

トルコの CALIK ホールディング傘下の Calik Denim は 1987 年に創業し、デニムとギャバジン織物の年産キャパシティ、4,200 万メーターを誇る世界でも有数の企業です。PTJ では、同社の最新のイノベーションを発表し、現在の顧客と新たなお客様に出会い、提案できることを楽しみにしております。注目コレクションのひとつは、ストレッチジーンズの歴史に画期的な“Smart Stretch”素材。快適な着心地を損なうことなく形状性に優れたイノベーションです。また、“Fly Jean”も必見のコレクションです。信じられないような軽さと抜群の柔軟性、クリーミーなやわらかさと形状保持性などの特徴を備えた、アスレジャー・スタイルにぴったりのコンセプトです。



➤ J VIEW FASHION CO., LTD./China (A-67)

J VIEW FASHION は、コットン、リネン、シルク、ウールの天然素材に特化した高品質・高感度な素材が毎回人気の企業です。価値と美しさを創造し、心に響くブランドとして、責任あるビジネスを企業理念としています。

2019S/S デザイン・ストーリー：シーズン・テーマは中庸（Moderation）。ナチュラルカラーに代わり、強く、特徴的でエネルギーがすべてのコレクションに反映されます。スポーツ要素を感じさせる高品質コットンとリネン。シルク・コットンやピュアシルクは、もっとカジュアルな雰囲気。それぞれの素材は製品をイメージしてデザイン。毎日着る度に服と人、そして肌にもっと一体感が生まれます。



【プレスカンファレンス開催のお知らせ】

日時：2018 年 5 月 10 日（木） 17:00-18:00 （PTJ2 日目）

場所：PTJ 会場諸室 VIP ルーム

第一部（17:00-17:30）PTJ2019SS を振り返って（JFW 貝原運営委員長／川島事務局長）

第二部（17:30-18:00）Milano Unica 及び The Japan Observatory について

（Ercle Botto Poala MU CEO／JFW 川島事務局長） ＊英語による逐次通訳

◇一部、二部とも特に資料は用意しませんので、記者の皆さんからの質問を受ける型式を想定しています。

